

Tochigi Monthly 2026

組合活性化情報 *Information For Small Business Association*

th
ANNIVERSARY
since 1956

特集

P1～7

栃木県中小企業団体中央会 創立70周年記念事業を開催

～記念式典・組合祭り in とちぎ2026～

70th
Anniversary



栃木県中小企業団体中央会

10

vol.700

栃木県中小企業団体中央会 創立70周年記念事業を開催 ～記念式典・組合祭りinとちぎ 2026～

本会は9月12日、ライトキューブ宇都宮において、創立70周年記念事業を開催しました。当日は、創立70周年記念式典とあわせ、会員組合等が一堂に会する「組合祭り in とちぎ 2026」を開催。多くの来場者を迎え、展示・販売やステージイベントなどを通じて、組合や組合員企業の魅力を広く発信しました。

本特集では、当日の様様を写真とともに紹介します。

創立70周年記念事業の幕開けを飾るテープカット



左から 薄井正明商工会連合会会長、岩田泰関東経済産業局長、福田富一県知事、横倉正一中央会会長、関谷暢之県議会議長、及川勝全国中央会常務理事、喜谷辰夫商工会議所連合会会長

創立70周年記念式典では、横倉正一会長が式辞を述べ、会員組合や関係機関の長年にわたる支援に感謝を表しました。また、中小企業を取り巻く環境が大きく変化する中、「相互扶助の精神」と「連携の力」の重要性に触れ、70周年を新たな出発点として、今後も会員組合や中小企業の連携と成長を支えていく決意を述べました。

続いて、来賓を代表し、福田富一栃木県知事、関谷暢之栃木県議会議長、岩田泰関東経済産業局長から、本会創立70周年にあたっての祝辞をいただきました。



主催者挨拶を行う横倉正一会長

ご 来 賓 祝 辞



福田富一栃木県知事



関谷暢之栃木県議会議長



岩田泰関東経済産業局長

創立70周年記念式典・表彰式

～永年の功績を称えて～

長年にわたり組合の発展や中小企業の振興に尽力された組合、組合役員、専従者、青年部等に対する表彰が行われました。関東経済産業局長表彰をはじめ、栃木県知事表彰、全国中小企業団体中央会会長表彰、本会会長表彰が行われ、それぞれ代表者に表彰状が授与されました。

表 彰 状 授 与 ～受章者を代表して～



関東経済産業局長表彰 組合等
栃木県米菓協同組合



関東経済産業局長表彰 組合等役員
駒形忠晴 氏（栃木県石灰工業協同組合 理事長）



栃木県知事表彰 優良組合
栃木県環境整備事業協同組合



全国中央会会長表彰 優良組合
大田原管工事工業協同組合



栃木県中央会会長表彰 優良組合
栃木金属プレス協同組合



創立70周年記念表彰 受章者一覧

～受章された皆様、おめでとうございます～

(順不同、敬称略)

関東経済産業局長表彰

【組合等】

栃木県米菓協同組合

【組合等役員】

駒形 忠晴（栃木県石灰工業協同組合 理事長）

栃木県知事表彰

【優良組合】

栃木県環境整備事業協同組合

栃木県生花商協同組合

奥日光観光サービス振興事業協同組合

【役員功労者】

伊藤 清志（足利鉄工団地協同組合 理事長）

森下 正一（佐野給食センター福祉事業協同組合 理事長）

白石 修（鹿沼木工団地協同組合 理事長）

【優良専従者】

小谷野 知子（足利鉄工団地協同組合 事務局長）

森田 充以（宇都宮卸商業団地協同組合 事務局長）

【青年部役員功労者】

阿久津 広輔（栃木県青年経営者中央会 元会長）

相良 正則（栃木県青年経営者中央会 元会長）

全国中小企業団体中央会会長表彰

【優良組合】

大田原管工事工業協同組合

栃木県北部生コンクリート協同組合

【組合功労者】

吉成 容一（さくら市商工協同組合 理事長）

佐久間 藤也（益子焼協同組合 理事長）

平野 浩視（栃木県弁護士協同組合 理事長）

【優良組合青年部】

栃木県酒造協同組合醸友会

栃木県中小企業団体中央会会長表彰

【優良組合】

栃木金属プレス協同組合

栃木県室内装飾事業協同組合

塩谷建設業協同組合

中禅寺温泉旅館協同組合

大田原・那須資源回収事業協同組合

栃木県建設業協同組合連合会

【組合功労者】

中村 勝（宇都宮市管工事業協同組合 理事長）

塚田 義孝（真岡信用組合 理事長）

斎藤 弘充（栃木県自動車電装品整備商工組合 理事長）

前原 正義（下野市建設業協同組合 理事長）

大出 雄一（栃木県プロパンガス商業協同組合 理事長）

沼尾 公司（今市木材開発協同組合 理事長）

大橋 久也（下野市造園建設業協同組合 理事長）

山本 久一（小山広域廃棄物処理協同組合 理事長）

伊藤 太郎（協同組合宇都宮餃子会 理事長）

白井 秀樹（那須野環境整備事業協同組合 理事長）

大島 三千三（那須塩原市一般廃棄物処理協同組合 理事長）

【優秀事務局専従者】

鈴木 章弘（協同組合宇都宮餃子会 専務理事兼事務局長）

村上 光広（協同組合キャリアステーション 事務局長）

野澤 悦夫（栃木県トラック運送事業協同組合 事務局長）

木下 直哉（栃木県コンクリート製品協同組合 事務局長）

大泉 浩子（企業情報ネット協同組合 事務局長）

坪井 武徳（栃木県中古車販売店商工組合 部長）

橋本 昭子（栃木県山林種苗緑化樹協同組合 総務統括）

村上 鋭一（栃木県中小企業団体中央会 主査）

【優良青年部】

物流ネットワーク栃木協同組合青年部

組合祭り in とちぎ 2026 ～多彩な催しと出展で、組合の魅力を発信～

会場では、ステージイベントをはじめ、会員組合等による商品・サービスの販売や展示、体験コーナーなど、多彩な催しが繰り広げられました。会場は、終日、多くの来場者で賑わい、各ブースでは出展者との交流も盛んに行われておりました。ここでは、「組合祭り in とちぎ 2026」当日の様子の一部を、写真とともに紹介します。

会場を盛り上げたステージイベント



会場フォト



開場前の会場入口



出展ブースを巡る多くの来場者で賑わう会場



飲食を楽しむ来場者で活気づく屋外会場



長蛇の列で賑わった抽選会場

組合の魅力が集結！多彩な出展ブース



丸正食品協同組合（株式会社横倉本店）
酒類の試飲・販売



栃木県米菓協同組合 米菓の販売



栃木県印刷工業組合 業界PR展示



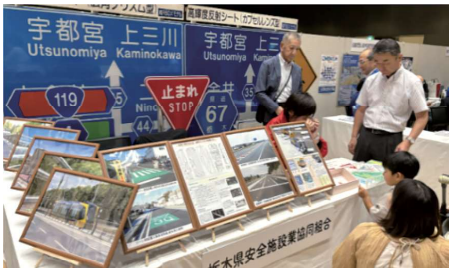
栃木県美容業生活衛生同業組合
美容体験コナナ



宇都宮市管工事業協同組合
業界PR・配管パズル体験



栃木県生花商協同組合
フラワーアレンジメントコーナー



栃木県安全施設業協同組合 業界PR展示



企業組合らんどまあむ お総菜の販売



栃木県パン協同組合／
栃木県学校給食パン協同組合 パン類の販売



栃木県食肉事業協同組合連合会
牛串・豚串の販売



栃木県スポーツ用品販売協同組合
スポーツ用品の販売

赤帽栃木県軽自動車運送協同組合
事業PR

栃木県板金工業組合 銅製品の展示販売



栃木クラフトビール協同組合
ビールの販売



一般社団法人栃木県自動車整備振興会／
栃木県自動車整備商工組合 事業PR



道の駅きつれがわ からあげとフルーツの販売



栃木県火災共済協同組合 共済・保険PR



一般社団法人栃木県トラック協会 事業PR

Story

中央会70年のあゆみ

■ 設立から平成27年度までの主な出来事

年	主な出来事
昭和31年 2月17日	「栃木県中小企業等協同組合中央会」設立、事務所を県庁内に設置 初代会長に横倉正吉氏が就任
昭和31年 4月	全国中小企業団体中央会設立
昭和31年 6月	「栃木県中小企業団体中央会」に改称、事務所を旧宇都宮商工会議所内に移転
昭和36年 1月	第2代会長に飯島守氏が就任
昭和41年10月	創立10周年式典を開催
昭和42年 5月	第3代会長に高橋栄作氏が就任
昭和43年 3月	栃木県商工会館（旧：埴田会館）に事務所を移転
昭和44年 6月	中小企業向けラジオ放送を開始
昭和48年 4月	「情報連絡員制度」開始
昭和49年 3月	「栃木県青年経営者中央会」創設
昭和49年 7月	「足利支所」開設
昭和50年 5月	第4代会長に横倉良夫氏が就任
昭和51年11月	創立20周年式典を開催
昭和55年 4月	組合活性化情報誌「栃の葉」を発刊
昭和56年 7月	栃木県産業会館へ事務所を移転
昭和60年 2月	創立30周年記念式典を開催
昭和60年11月	第5代会長に藤井清氏が就任
昭和62年 6月	組合活性化情報誌を「中央会MONTHLY」に名称変更
平成元年 7月	第6代会長に橋本吉夫氏が就任
平成元年12月	栃木県商店街振興組合連合会を設立
平成2年10月	第42回中小企業団体全国大会を栃木県にて開催
平成6年10月	「'94組合まつり（青年中央会主催）」を開催
平成7年11月	創立40周年記念式典を開催
平成12年 4月	県より移管を受け「技術・市場交流プラザ事業」開始
平成15年 5月	第7代会長に菊池功氏が就任
平成16年 8月	「栃木県道の駅連絡協議会」を発足し事務局を担う
平成17年 2月	創立50周年記念式典を開催
平成23年 5月	第8代会長に瓦井利宗氏が就任
平成25年 3月	「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業」 の地域事務局を受託
平成26年 3月	足利支所を閉鎖し本部へ統合
平成27年 5月	第9代会長に渡邊秀夫氏が就任
平成28年 2月	創立60周年記念式典を開催



栃木県産業会館



第42回中小企業団体全国大会



創立60周年記念式典

■ 平成28年度から現在までの主な出来事

平成28年度

- 県からの委託で働く女性のキャリアアップ向上を目的とした「女性活躍ネットワーク事業」を開始
- 「外国人技能実習生共同受入事業」を行う組合及び組合員の円滑な受入を支援するため「外国人技能実習制度適正化事業」を開始

平成29年度

- 関係団体との共催によりビジネスマッチングや施策提供を行う「異業種交流会」を開始
- 組合間連携で災害時の体制整備を目指す「緊急時組合連携事業」を開始
- 本県におけるデスティネーションキャンペーンにあわせ「デスティネーションキャンペーン支援事業」「県内組合・企業連携による新商品の展示支援事業」を実施

平成30年度

- 深刻となる人手不足に対応するため「働き方改革・人手不足対応支援事業」を実施
- 地場産業のブランド形成を目的とした「地域産業ブランド力向上支援」を実施
- 栃木県青年経営者中央会において「組合青年部全国講習会」を開催

平成31（令和元）年度

- 第10代会長に齋藤高藏氏が就任
- ドローン活用による新ビジネスを検討する「ドローンビジネス連携開拓事業」を実施
- 組合員等が新たに開発した商品や組合員企業等のPRを目的とした「組合等販路開拓支援事業」実施
- 「令和元年度補正 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」に係る地域事務局を受託
- インバウンド需要の獲得と県内のキャッシュレス化推進を目的とした「キャッシュレス決済導入促進事業」を栃木県から受託

令和2年度

- 新型コロナウイルス感染拡大
- 栃木県から感染対策に対する支援を行う「栃木県地域企業感染症対策支援補助金」並びに非対面型ビジネスモデルへの変換に対する支援を行う「栃木県地域企業再起支援事業費補助金」の受付業務を受託
- インバウンドへの対応を目指す「ファムトリップチャレンジ支援事業」を実施

令和3年度

- 県内の逸品をセット商品としてEC販売を行う「県産品アソート支援事業」を開始
- コロナ禍によるテイクアウト等のニーズに対応した「非対面型ビジネスモデル推進事業」を実施

令和4年度

- SDGsへの取り組み促進と普及を目的とした「組合等SDGs対応モデル事業」を実施
- DXの理解促進と導入支援を通じて、生産性向上を目指す「DX推進支援事業」を実施
- インボイス制度等の周知広報・導入対応を目的とした「事業環境変化対応型支援事業」を開始

令和5年度

- 第11代会長に横倉正一氏が就任
- 後継者対策の推進と円滑な事業承継の実現を目的とした「事業承継促進支援事業」を開始
- 中小企業の強みを活かした組合の共同事業による新商品・新サービスの開発支援を目的とした「ニュープロダクト開発等支援事業」を実施

令和6年度

- 人材確保に向けた採用力強化と、定着率向上のための職場環境づくりを目的とした「人材確保・定着支援事業」を開始
- コスト上昇に対応した円滑な価格転嫁の実現と適正な取引環境の整備を目的とした「価格転嫁促進支援事業」を実施
- 中小企業等の省力化設備導入を促進し、生産性向上と賃上げを支援する「中小企業省力化投資補助金」に係る事務局業務を受託

令和7年度

- 団体協約の活用を通じた円滑な価格転嫁と取引条件の改善を目的とした「団体協約活用促進事業」を実施
- 組合等によるコラボ商品開発や販路開拓を通じた付加価値向上と新分野進出を目的とした「組合等販路開拓コラボ支援事業」を実施

景況レポート

～52名の情報連絡員による報告～

令和8年8月分

8月の県内DI値は、前月比で売上が7.7ポイント増加、収益は－7.7ポイント減少、景況は3.8ポイント増加となった。

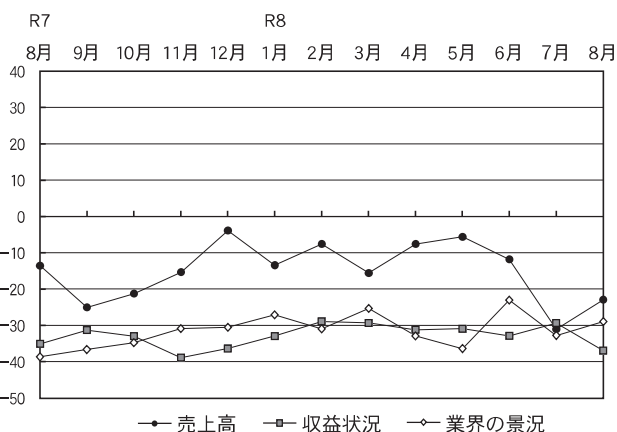
県内の中小企業を取り巻く景況は、一部で売上や受注の持ち直しがみられるものの、原材料・資材価格や人件費、燃料費等の上昇が収益を圧迫し、依然として厳しい状況が続いている。特に、十分な価格転嫁が難しい業種では採算確保が課題となっているほか、人手不足や消費の伸び悩みも経営の重荷となっている。先行きへの不透明感が残る中、適切な価格転嫁や生産性向上、人材確保・定着など、経営基盤の強化が求められている。

景況天気図（前年同月比のDI値）

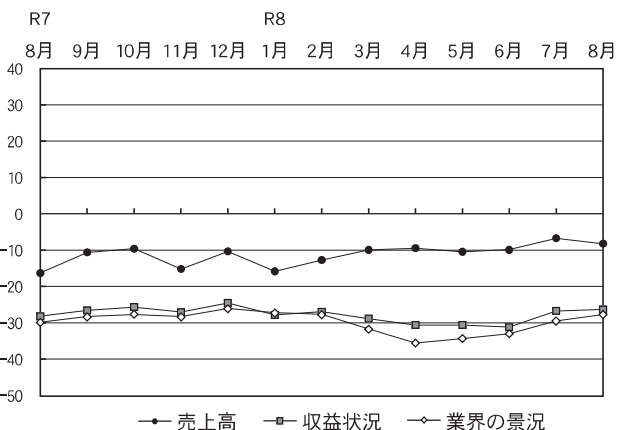
	全 体	製造業	非製造業
売 上 高	 －23.1	 －24.0	 －22.2
在庫数量	 5.7	 12.0	 －10.0
販売価格	 23.1	 16.0	 29.6
取引条件	 －17.3	 －20.0	 －14.8
収益状況	 －36.5	 －40.0	 －33.3
資金繰り	 －21.2	 －20.0	 －22.2
設備操業度	 －12.0	 －12.0	
雇用人員	 －7.7	 －4.0	 －11.1
業界の景況	 －28.8	 －20.0	 －37.0

DI値の推移（対前年同月比）

▼栃木県



▼全国



※DI (Diffusion Index) 値とは、景気の動きをとらえるための指標です。各景況項目について「増加・好転」との回答した業種から、「減少・悪化」との回答をした業種の割合をもとに示しております。

 30 以上	 10 以上 30 未満	 -10 以上 10 未満
 -30 以上 -10 未満	 -30 未満	

製造業	食料品		今月は、雨の日が多く、気温も前年を下回ったことから、県内の観光地では人出が少なく、盛夏商品の売上高が減少した。また、飲食店においても、客足の減少などにより売上高が低下するなど、天候による影響が見られた。さらに、県内の都市周辺部では、飲食店における人手不足が深刻化しており、営業時間の短縮などを余儀なくされ、売上減少に繋がっているとの声も聞かれた。また、原材料・資材類の値上げも状況は変わらず、特にナフサ不足の影響によるポリエチレンやビニール類の値上げ、供給制限に対する困窮の声が多く聞かれた。その一方で、一部の事業者からは、大型チェーン食品スーパーとの取引において、従来の一部地域への供給に加え、他店舗への供給機会が増えたことで、売上増加に繋がったとの明るい声も聞かれた。(めん類製造業)
	繊維工業		売上、利益ともに前年同月を維持できた。月稼働日数や日産数量に変わりはない。今後も、原料や賃金上昇分を販売価格の引上げに反映させるため、客先と常に交渉していくことが大きな課題であり、最重要点であると考えている。業界の市況も良くなく、先行きは非常に不透明な状況である。(縫製業)
	木材・木製品		プレカット工場は需要期に入り、受注が改善している。大型工場の稼働も回復傾向にあるものの、住宅需要全体は依然として低調である。木材価格は、スギが横ばい、ヒノキが弱含みで推移する一方、円安や欧州材高を背景に、集成材の仕入れコストは上昇傾向にある。(一般製材業)
	印刷		8月に入り、用紙・資材などの原材料のさらなる価格上昇が起きている。さらに、10月からの最低賃金改定に伴う人件費の増加に加え、原材料費や外注費の上昇への対応も必要となることが予想される。中東情勢の不安定化を背景とした石油関連資材の供給制限や欠品は徐々に改善傾向にあるように感じられるが、依然として注意が必要な状況にある。(印刷業)
	窯業・土石製品		暑さも和らぎ、観光客も増加傾向にある。窯元においては、秋の陶器市や各種イベントに向けた製造が本格化し、原料の購入も増加している。10月以降は、多方面での販売機会が増えることから、組合の売上についても伸びが期待される。一方、10月からは購買品や原料の値上げが予定されており、今後の仕入れ価格への影響が懸念される。(陶磁器・同関連製品製造業)
	鉄鋼・金属		自動車関連では、お盆休み前後も生産を止めない体制が標準化しつつあり、サプライチェーンにおいては休業日が増加し、減収・減益となる企業も見られる。さらに、物価高、人件費や金利の上昇などにより利益確保が難しく、特に株価や金利の上昇は中小・零細企業にとって厳しい経営環境が続いている。(金属製品製造業)
	一般機器		景況は、売上増加や収益改善の回答が多く、概ね安定している。一方、自然災害による事業への影響を懸念する声が多いにもかかわらず、BCPを策定していない、または検討段階の事業者が7割を超えており、具体的な対策が進んでいない。必要な支援としては、研修・セミナー、簡易なひな形・チェックリスト、専門家による個別支援、補助金・助成金などの費用支援が挙げられている。(一般機械器具製造業)
非製造業	卸売業		業種・取扱商品によって流通量の増減に差がある。燃料価格の上昇をはじめとする物価高も相変わらず、多方面でのコスト上昇に厳しい状態が続いている。従業員の人員確保が難しい。(募集をかけても集まりにくい。)賃金アップについても対応していく中で、原資の確保の他、労働時間問題についても検討していかなければならないため、課題も多い。(各種商品卸売業)
	小売業		大きな物日であるお盆商戦では、価格の上昇もあり、必要な花材の入手に苦労した。今までのオークション(セリ)仕入れではなく、注文や相対など、より計画的な仕入れ形態が必要のようだ。次の物日である秋の彼岸の仕入れ花材についても、盆中に発注を済ませた組合員も多い。大雨や台風の影響も大きく、売上に影響を受けた組合員もいた。(花・植木小売業)
	サービス業		前年度同時期と比較すると、約80%の宿泊施設で宿泊客数が減少した。一方、前月との比較では、約90%の宿泊施設で宿泊客数が増加した。夏休み期間ではあったものの、全体的に厳しい状況となった。お盆期間中は一定の宿泊客があったものの、お盆を過ぎると予約がほとんど入らず、多くの宿泊施設で前年を下回る厳しい状況となった。また、夏季の気温が比較的高くならなかったことに加え、熊本地震や物価高の影響などもあり、宿泊客数の減少につながったと考えられる。(旅館・ホテル)
	建設業		ホルムズ海峡封鎖問題により、原油由来のプラスチック系材料の入荷が激減しており、業務に支障が出ている。またその影響による製品の値上げが相次いでおり、工事の設計・施行に困難が生じている。(管工事業)
	運輸業		例年のことではあるが、お盆休みの影響で稼働日数が減り、荷動きが鈍い月である。しかし、今年はお盆休み中も食料品等の配送で慌ただしい日があり、被災地である熊本への配送依頼もあった。燃料費や人件費の高騰など、物流業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。(貨物軽自動車運送業)

※情報連絡員の方より頂いたコメントの中から一部掲載しています。
集計結果の詳細は本会HP (<http://www.tck.or.jp/>) をご覧ください。

中央会からのお知らせ

中小企業組合士試験のご案内

中小企業組合士制度は、中小企業組合に従事する役職員の資質の向上を図るため、その職務の遂行に必要な知識に関する試験を行い、試験合格者の中から一定の実務経験を有する者に対し、中小企業組合士の称号を与える制度です。

中小企業組合士はまさに組合運営のエキスパートです！ぜひチャレンジしてみたいはいかがでしょうか！

- 試験科目 組合会計、組合制度、組合運営
※一部の科目について合格した場合は、その後3年間はその科目の受験が免除されます。
- 試験日 令和8年12月6日（日）
- 受験料 7,700円（消費税込）
※一部科目免除者については6,600円（二科目受験）、5,500円（一科目受験）
- 受験申込 「令和8年度中小企業組合検定試験」受験申込サイトから申込み。
（受付期間：令和8年9月1日（火）～10月21日（水））
- 合格発表 令和9年3月1日（月）

詳しくはこちらから



経営者セミナー 異業種交流会のご案内

大樹生命保険株式会社 栃木支社との共催により、ロンドン五輪 卓球女子団体銀メダリストの平野早矢香氏を講師に招き経営者セミナーを開催します。異業種交流会とともに是非奮ってご参加ください。

- 日時 令和8年10月28日（水） 16：00～19：30（受付15：30～）
- 会場 ホテルニューイタヤ（宇都宮市大通り2丁目4-6 TEL：028-635-5511）
セミナー：南館4階「桜の間」 交流会：本館3階「天平の間」
- 内容 **【第一部 経営者セミナー】** 16：00～17：40
テーマ：「昨日の自分より一歩前へ」
講師：2012年ロンドン五輪 卓球女子団体銀メダリスト／とちぎ未来大使 平野 早矢香 氏
【第二部 異業種交流会】 17：50～19：00
第二部会場にて、立食とお飲み物をご用意しております。
- 参加費 **無料**（原則、事前登録制となります。）
※詳細は本会事業管理部までお問い合わせください。

編集後記

今月のMonthlyでちょうど700号目を迎えました。700号となると、年数換算で58年程発行していることとなります。長い歴史を感じますね。

その記念すべき700号では、中央会70周年記念事業である「組合祭りinとちぎ2026」を特集として掲載いたしました。組合祭りというイベントを通して組合や中央会という存在が私たちにとって身近な存在であることを、一般の方々に広く知っていただく機会となったのではないかと思います。

長きにわたる歴史を大切にしながら、これからも組合の活動や魅力、中央会の取組を周知できるよう、職員一同より一層努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。（G.T）

★公式Xアカウントを開設しました★

補助金やセミナー情報等を随時発信しております。ぜひフォローのうえ、情報収集にご活用ください。



https://x.com/Chuokai_Tochigi

